

参謀次長

外相起業ノ對獨通告文及外相御説明案ナカナカウマク出

來テ居ルテハナイカ

始メカラ出セハコンナニ延ビナカツタダラウ

外相 皆ノ意見ヲ聞イタカラウマク出來タノダ

第四四 御前會議

議題 「情勢ノ推移ニ伴フ帝國國策要綱」

日時 七月二日午前十時ヨリ十二時迄二時間

場所 官中

出席者 杉山參謀總長

塚田次長

永野軍令部總長

近藤次長

近衛總理大臣

原樞密院議長

平沼內務大臣

東條陸軍大臣

及川海軍大臣

河田大藏大臣

鈴木國務大臣兼金雲院總裁

富田內閣書記官長

四海軍軍務局長

(武藏陸軍軍務局長ハ病氣ノ爲缺席)

議事進行ノ経過

總理 オ許シテ得テ議事ヲ進行スル旨申上ク

(櫻田註 提案ハ朗讀スルコトナク、スグ様説明ニ移ル、之ハ毎四回シタトノコトナリ)

總理 兩總長 外務大臣 豫定ノ如ク別紙説明ヲ了ル

原攝府議長

本日ノ議題ノ方針ハ總理ノ説明ニヨリ疑問モナケレハ異議モナイ、要領ニ就テ若干ノ質問ヲスル

第一項敵性租界ノ接收トハ實力ヲ行使シテモヤル意志ナノカ英米トノ間ニ問題ヲ惹起スル虞レハナキヤ對佛印強硬旋策ヲ實行スル以上併セテ此ノ點懸念アルヘシ接收ノ時機方

松岡外務大臣

法ハ如何ニ考ヘアルヤ英米ト開戦ノ後ナレハ別ナレトモ然ラサルトキハ平和的の外交手段ニヨルノカ適當テハナイノカ「適時」トハ如何、租界接收ト對英米戦トノ關係ヲ何ヒ度此ノ問題ハ極メテ重要ニシテ輕々ニハ出来ヌ事變處理上願フトコロテ何トカシテ租界ヲ仰ヘタイ、巴ムヲ得サレハ武力ヲ使ハネバナラス元ヨリ外交ニヨルコトハ勿論デアル日本軍力接收スルノハ成ルヘク難ケタイ國民政府ヲシテ接收セシムルカヨロシイ、巴ムヲ得ナイトキ一時日本軍力抑ヘルヤウニシタイ、租界接收ハ佛印ヲヤルノヨリモ英米ヲ刺戟スルコトカ大デアルト思フ

東條陸軍大臣 慎重ニヤルコトハ外相ノ旨ハレタ通りテアル、租界カ事  
變處理ノ邪魔ニナツテキルコトハ御承知ノ通りテ天津、上  
海其ノ他ニ租界ハアルカ何レモ邪魔ニナル之ニ網レナイ爲  
ニ皇軍ハ非常ニ損害ヲ蒙ツテキル、事變四年ヲ經過シテ情  
勢ハ動イテ來タカ租界處理ニハ外交實力行使何レモ必要テ  
アルト思フ然シ慎重ニヤル必要カアル、特ニ半記サレ度キ  
ハ租界カ事變處理ニ非常ナル妨害ニナツテキルコトテアル  
特ニ作戰上支那ニ於ケル租界カ妨害ニナリ四ヶ年間ニ於  
ケル之カ犠牲ハ極メテ大テアル、事變ヲ急遽ニ解決スル爲  
ニハ先別説明セル場合ニハ接收ヲ斷行セナケレハナラズ、  
米カ參戰シタ場合、英米蘭カ賛助シタ場合又ハ近ク行フヘ

杉山參謀總長

特ニ作戰上支那ニ於ケル租界カ妨害ニナリ四ヶ年間ニ於  
ケル之カ犠牲ハ極メテ大テアル、事變ヲ急遽ニ解決スル爲  
ニハ先別説明セル場合ニハ接收ヲ斷行セナケレハナラズ、  
米カ參戰シタ場合、英米蘭カ賛助シタ場合又ハ近ク行フヘ  
中南佛出兵カ英米ヲ大シテ刺激セスニ審量イタ時期等ニ處  
理スルノモヨロシカルヘシト考ヘアリ

原樞府議長

第二項ニ「對英米戰カ起ルモ辭式」トアルカ第一項ノ租  
界ヲヤルトキニモ辭セスト云フ考ヘナルヤ否ヤ疑問ナリシ  
ヲ以テオ何ヒシタ譯テアル、參謀總長説明ノ如ク英米戰ト  
云フコト迄モ考ヘテカラヤルベキモノテアルト思フノテア  
リマス

次ニ要領二ノ「必要ナル外交交渉」トハ蘭印對手ノモノナ  
リヤ

松岡外務大臣

主トシテ佛印ニシテ又泰及蘭印モ考ヘテキル

原樞府議長

佛印ヲ含ムト云フカラ「南方地價促進ニ關スル件」ニ就

テオ伺ヒシ度イ第三項ニ武力行使ヲヤルトアルカ事變處理  
ニモ關係カアルヘキモ本施儀ハ外交テヤルノカ主カ武力テ  
ヤルノカ主カ

松岡外務大臣

外交テ成功ノ見込ミナシ

獨逸ニ斡旋ヲ願ミタルモ未タニ返事ナシ明日位オソラク返  
事アルヘシ

獨逸ハ「ヴィシイ」ニ手ヲ打ツテモ成功ノ見込ミナシト考  
ヘアルカ如シ「ヴィシイ」ニ對シ確信ナケレハ獨逸ニ願マ  
スト言ヒヤリシカ先方ヨリノ返ナシ  
獨カ斡旋スルヲ可ト存スルモ然ラザレハ外交上成功ハ六ツ  
敷シイ

依ツテ武力行使ヲ決意シテ懸ラネバナラス但シ本問題ハ最  
後ノ瞬間迄外交テ成功セシムル機考ヘテキル、中ルカ中ラ  
スカハ不明テアル昨年北部佛印ノトキモ外交上ノ成功ノ公  
算ハ十分ノ一ナリシモ結メタラ上平ク行ツタ今度ハ昨年ヨ  
リ好イトハ思ハナイカラ出來ルカ出來スカ分ラヌ統帥部モ  
武力行使ヲヤリタクナイ考ヘダカラ外交上最善ヲ盡シテ見  
タイ

原樞府議長

外交交渉テハ六ツ敷シイト思フ、シカシ武力行使ハ事重

大ナリ要領ニニアル對英米戰ハ大問題ナリト考ヘル

外相ハ八故一字ト言ヒ皇遣外交ヲヤルコトヲ屢々聲明シテ  
キルカ佛印ニ對シ昨年領土保全ヲ約シ今又明日ニモ日佛間

條約ノ批准ヲシヤウト言フノニ佛印ニ對シ武力進駐スルハ  
主旨カ合致セスト思フカ如何矣米カ佛印ニ對シ武力ヲ行使  
セリト云フナラバ別ナルモ武力進駐ハ皇道外交上不都合ナ  
ラスヤ 外相ハ武力行使ヲ避ケタシト云フ武力ヲ背景トシ  
テ佛印ヲ聽從セシメルハ可ナルモ直接武力行使ヲ有無ヲ言  
ハセスヤツテ侵略呼バハリヲサレル事ハヨクナイト思フ之  
ヲ皆様ニ申シテ此ノ質問ヲ終ルコトニシタイ

次ニ獨「ソ」開戦ハ日本ノ爲眞ニ千載一遇ノ好機ナルヘキ  
ハ皆様モ異論ナカルヘシ「ソ」ハ共產主義ヲ世界ニ振リ舞  
キツツアル故何時カハ打タネハナラス

現在支那事態進行中ナル故「ソ」ヲ打ツノモ思フ様ニ行カ

スト思フケレトモ機ヲ見テ「ソ」ハ打ツヘキモノナリト思  
フ帝國トシテハ對「ソ」戰争開英米トノ開戦ハ望マナイ  
國民ハ「ソ」ヲ打ツコトヲ熱望シテキル此ノ際「ソ」ヲ打  
ツテモライ度イ三國條約ノ精神ニヨリ少シデモ利益ニ利益  
ヲ與ヘルヤウ努メテモライタイ「ソ」ヲ打タレ度ト獨カラ  
何カ云フテ來テキルカ

松岡外務大臣

御注意御意見拜聴セリ此ノ度ノ日佛印協定ノ御批准ハ  
重要ナルコト故不信行爲ニナラサル様ヤラネバナラス世界  
ニ對シ背信行爲ニアラスト云フ様ナ注意ヲ喚起方慮置スヘシ  
尙獨「ソ」戰争ニ伴フ對獨協力ニ關シテハ廿六日「リッペ  
ン」カラ協力方申シ來リ廿八日ニモ來電アリタリ「南方協

俄促進ニ圖スル件」ヲ検討シタルトキハ獨「ソ」戰ハアル  
モノト思ヒタリ從ツテ獨ニ對シテハ此ノ際日本トシテ逃ケ  
ヲ打ツタ様ニシタクハナイ

原樞府議長

「ソ」ヨリ希望アリシヤ

松岡外務大臣

獨「ソ」開戦四日後日「ソ」中立條約ニ對シ如何ニ考  
ヘラルルヤト問ヒタルヲ以テ三國同盟ニ影響ナシト答ヘタ  
ルニ其後抗議ナシ又此度ノ戰爭ニ對スル態度如何ト問ヒタ  
ルヲ以テマダキマツテ居ラスト返答シ置ケリ

松岡外務大臣

序ニ一言附加致シマスカ獨「ソ」戰爭ニ對シ帝國ハ參  
戰セサルモ文面上ヨリスレハ不信行爲ニアラス之ヲ同盟成  
立ノ精神ヨリスルトキハ參戰スルヲ至當トスヘシトスル意

見ナリ

原樞府議長

日「ソ」中立條約ノ爲ニ日本カ「ソ」ヲ打タハ背信ナリ  
ト云フモノアルヘキモ「ソ」ハ背信行爲ノ常習者ナリ日本  
カ「ソ」ヲ打テテ不信呼バリスルモノハナシ私ハ「ソ」ヲ  
打ツノ好機到來ヲ念願シテ已マサルモノナリ

米國トノ戰爭ハ避ケタイ「ソ」ヲ打ツモ米國ハ出ナイト思

フ

モウ一ツ伺ヒマス

佛印地策實行ニ當リ英米戰ヲ辭セスト云ヒツツ佛印ニ於テ  
對英米戰ヲ準備スル爲ニ近クヤル基地設定ハ之レカ爲ノ準  
備タト云フテキル

今迄ニ英米戦ノ準備ハ出来ナカツタノカ  
佛印ヲヤレバ英米戦ハ起ルト思フカ如何

松岡外務大臣

此ノ答ヘハ六ツ敷シイ第一編ノ將校カ武力ヲ使フモノ  
ト思ヒ込ミ猛リ立ツテヤルモノダカラ困ル、周到ナル準備  
ヲ以テヤレバ英米戦ニナラス公算カ多イ尤モ將校ノ猛リ立  
ツノハ統帥部ニ信頼シテ同意シタ

獨「ソ」戦中ナルカ故ニ獨ノ對英攻撃カ延ヒルソコデ英米  
側ハ獨ハ對英上陸ヲヤラスト思フカモ知レスシカシ私ハ獨  
ハ獨「ソ」戦中ニ對英上陸ヲヤルコトアリト思フ、獨「ソ」  
戦ハ「リツベン」サヘモ知ラナカツタ獨「ソ」戦中對英上  
陸ヲヤルカヤラスカハ「ヒットラー」ノ胸三寸ニアル獨カ

對英上陸ヲヤレハ「アメリカ」ハビツクリシテ参戦シナイカ  
又反對ニ積極的ニ北方ヨリ日本ニ對シ手ヲ出スカモシレヌ  
之レ米國ノ氣性ノ特質カラソ、モ考ヘラレルノテ此ノ判  
斷ハ六ツ敷シイ

原樞府議長

ハツキリ 何ヒタイノハ日本カ佛印ニ手ヲ出セハ米カ参戦  
スルヤ否ヤノ見通シノ問題デアル

松岡外務大臣

絕對ニナイトハ云ヘヌ

杉山參謀總長

佛印進駐ニヨリ英米ヲ刺戟スルハ明ラカナルモ本年始メ  
對佛印紛争調停成功以來日本ノ威力ハ相當衰、佛印ニ及ン  
テキタ然ルニ現在ニ於テハ泰佛印ニ英米ノ策動カ多クナル  
一方テ將來ドウナルカワカラス此ノ際日本ハ今考ヘテキル

施策ヲ斷行セネバナラヌ英米ノ策謀ヲ封殺スルニハ是非必  
要ナアル

尙米國ニ對シテハ獨「ソ」戰爭ノ推移カ相當影響スル「ソ」  
カ速カニヤラレタラ「スターリン」政權ハ崩壊スルテアロ  
ウシ又米國モ參戰スルマイ

獨ノ計畫カ一頓挫セハ長期戰トナリ米參戰ノ公算ハ増ステ  
アロウ現在ハ獨ノ戰況有利ナル故日本カ佛印ニ出テモ米ハ  
參戰セスト思フ勿論平和的ニヤリタイ、泰ニモ施策シタイ  
カ馬來ニ近イノテ大事ニナルカモ知レヌ今同ハ佛印迄テアル  
尙將來ノ南方施策ニ及ホス影響相當ニアルコト故佛印ニ兵  
ヲ出スニ當リテハ慎重ニヤリタイト思フ

#### 原樞府議長

分ツタ自分ノ考ヘト全然同シテアル

即チ英米トノ衝突ハ出來ル丈ケ懸ケル此ノ點ニ就テハ政府  
ト統帥部トハ意見一致シテ居ルト思フ、予ハ今度ノ場合ハ  
少クトモ日本ヨリ進ンテ對米戰爭行爲ヲ懸クヘキタト信ス  
ル、第二ニ「ソ」ニ對シテハ出來得ヘクシハ早ク討ツト云  
フコトニ軍部及政府ニ希望ヲ致シマス、夫レ「ソ」ハ之ヲ  
壊滅セシムヘキモノナリ故ニドウカ開戰期ヲ速カニスル線  
ニ準備シテ賞ヒタシ方針ヲ立テルト同時ニ實行スル線ニ期  
待シテ已ミマセン

以上ノ主旨ニヨリ本日提案ノ本意ニ全然賛成テアル

真條陸軍大臣 原樞府議長ト同シ考ヘナルモ目下帝國ハ支那事變進行中



テアル此ノ點御承知アリ度

若イ將校ニ付松岡外務大臣ヨリ先程ノ發言アリタルモ私ハ  
軍人軍屬ヲ統督スル責任者トシテ松岡外務大臣カ 閣下ノ  
御前ニ於テ此クノ如キコトヲ云ハレタルニ對シ一言申述ヘ  
タイ

松岡外務大臣ハ第一級ノ軍隊ノ一部ニイキリ立ツモノガア  
ル様ナ口吻ヲ語ラサレタルモ軍隊ハ 大命ニヨリ動かノテ  
アル絕對ニソシナコトハナイ此ノ前ノ佛印進駐ノトキモ爾  
手トシテ處分シタ然シ武力ト外交トノ切換ハ非常ニ六ツ數  
シイ此ノ點統帥部ト協力シ遺憾ナキヲ期シタイ

杉山參謀總長 陸軍大臣ニ全然同意テアル

監督ヲ適切ニシ間違ヒノナキ様致スヘキヲ以テ御安心ヲ乞  
フ尙此ノ際關東軍ノ狀況ヲ説明ス

「ソ」ノ三十師團中四ヶ師團ハ已ニ西送「ソ」ハ尙絕對優  
勢ノ兵力ヲ擁シ戰略展開ノ態勢ニ在リ然ルニ關東軍ハ今迄  
ヘシ次第ナル故ニ守ル爲ニモ外交ノ後據トナル爲ニモ又將  
來ノ攻勢ノ足場ニモ關東軍ヲ充實シテ更ニ進ンテ好機ニ乘  
シ攻勢ヲ探ラセタイト思フ五六十日立テハ別「ソ」戰ノ見  
越シハツクト思ス、  
迄ハ今暫ク支那事變ノ處理及英米トノ  
關係ヲ見合セル必要カアルノテ提案ニ暫ク介入スルコトナ  
クト述ヘテアルノテアリマス

「會議後ノ所見

杉山參謀總長

本會議同海軍側發言スルモノナシ水野軍令部總長ハ

南部佛印ノ應答ノ際起立シテ發言シヤウトセシモ他ノ者カ

發言セシタメヤメタ。

原樞府議長ノ質問ハ適切ニシテ、エグル様ダツタ、オ上ハ

非常ニ御満足ノ様子ナリキ、オ晝食後一時半直チニ御説可

セラレタルモノナリ

政府側及就館部共答辨ハスラ スラ ト上手ニ出来タ

會議後原樞府議長ハ私ノ下ニ來リ「介入スルコトナシ」ト

云フ事ヲオ尋ネシタノハ私ハワカラナカタカヲオ聞キシ

タノダ滿洲ノ兵備ナドヲ聞カウトシタノテハナイ他意ナキ故

不遜ト懸ロニ聲明シタ

櫻田參謀次長

此ノ要綱ハ國家機密ニシテ絕對漏レヌ様ニシナケレバナラ

ヌ正規ノモノハソレゾレオ直シスルカラ今起ノ分ハ返却

セラレ度